

安全な道づくりが 安城の安心に



▲渋滞する豊田安城線

主要地方道豊田安城線 道路改良の概要

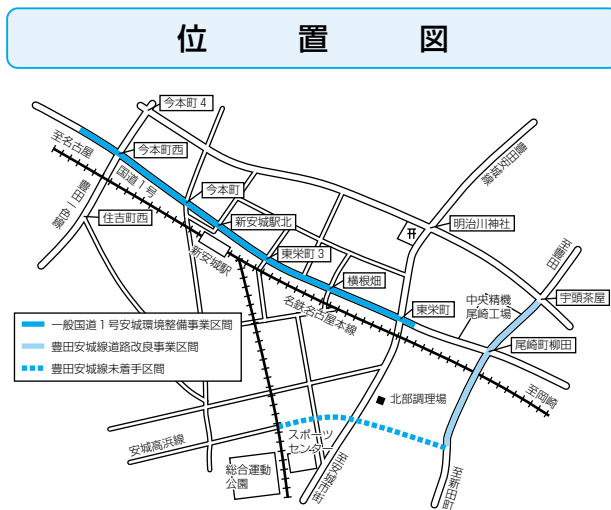
現在の主要地方道豊田安城線は、慢性的に渋滞が発生しており、特に一般国道1号と名鉄名古屋本線が近接している東栄町交差点付近では、朝夕の通勤ラッシュ時に激しい交通渋滞が発生しています。また、この交差点を避けるため、近隣の生活道路・農道などに車が流れ、大変危険な状態です。さらに、歩道が整備されていない区間もあることから、歩行者も大変危険な状態にあります。

渋滞緩和や生活環境の保全、歩行者保護の観点から、宇頭茶屋町道下から一般国道1号尾崎町柳田交差点を経由し、尾崎町蔵地地内に至る約1200mの区間を、できるだけ早い時期に整備する計画です。本年度は、昨年度に引き続き県と協力して用地買収を進めながら、橋りょうの設計を行います。



完成後の豊田安城線のイメージ

一般国道1号と名鉄名古屋本線を立体交差で連続して横断できる高架橋を整備します。



8月10日は 道の日です



▲今本町1丁目交差点付近

一般国道1号 安城環境整備の概要

一般国道1号は、古くから東海道としてにぎわった道路で、現在も東京と大阪を結ぶ大動脈として機能し、日本の産業発展を支える重要な道路となっています。このため、交通量が多く、また大型車の割合も多いため、家屋が密集する地区では、沿道環境の改善が必要となっています。

一般国道1号安城環境整備は、東栄町から今本町の間の25km（次ページ参照）について、道路の幅を18mから30mに広げ、広い歩道と植樹帯を設置することにより、沿道環境を改善することを目的とした拡幅事業です。現在、東栄町3丁目交差点から今本町西交差点付近までの工事を進めるとともに、東栄町交差点から東栄町3丁目交差点までの用地買収を進めています。

このうち、新安城駅交差点で工事中の「新安城駅地下横断歩道」は、バリアフリー化を目的にエレベーターを設置し、今秋に開通する予定です。



今秋開通予定の新安城駅地下横断歩道のイメージ

高齢者や身体障害者のためにもエレベーターを設置します。外観は「日本デンマーク」と呼ばれる本市にちなみ、デンマークの建物をイメージしています。



歩道の幅を1.5mから5mに広げ、歩道の一部に幅1.5mの植樹帯を設置します。また、電線共同溝を設置することによって電柱をなくします。



市民の皆さんへ

道路は、社会福祉・教育・環境などと同じように市民の皆さんの生活に密着した大変重要なものです。また、地域経済や地域の発展に欠くことのできない社会基盤でもあります。しかし、市内には、歩道がない、道幅が狭い、渋滞する、騒音や排気ガスによって沿道の環境が悪化するなど、皆さんに大変ご迷惑をおかけしているところもあります。

こうした課題を克服するために国・県などにもお願いしながら、市としても精一杯努力しているところです。一例をあげますと、環境整備のための一般国道1号安城環境整備、渋滞解消のための主要地方道豊田安城線道路改良、交通安全対策としての主要地方道安城碧南線自転車歩行者道設置及び都市計画道路東栄今池線街路新設改良などです。

こうした道路整備を円滑に進めるためには、用地確保や工事期間中の不便など皆さんの深いご理解とご協力が最も大切であると考えています。しかし財源（道路特定財源）がなくては道路整備を進めることができません。道路整備を円滑に進めるために設けられた揮発油税（ガソリン税）、自動車重量税などの道路特定財源は、道路整備のみならず、土地区画整理事業、IT社会に向けた整備などにも使われており、本市においては、なくてはならない財源となっています。

皆さんが切望している道路整備などについては、将来の高齢化社会を踏まえて、バリアフリー化を取り入れながら、不運転の決意で進めていかなくてはならないと考えています。これらの整備及び財源の確保について、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

ここでは土地区画整理事業と一緒に進めている一般国道1号安城環境整備及び主要地方道豊田安城線道路改良のご紹介をしました。

安城市長 杉浦正行